

## 第9話 印僑

インドの人は商売が上手で世界中に進出しており華僑に対し印僑という言葉もあるそうです。昔先輩から聞いたのですがマレーシアの言い伝えで「道でコブラと印僑に出会ったら先に印僑をやっつけろ」というのがあるそうです。わからなくも無いのですが本当にこんな言い伝えがあるのですかね。

そういえば、デリーにあるマウリア・シェラトンホテルの中にジュウタンの専門店があってそのニアズというカシミール出身の店長と親しかったのですが、日本人の友達がジュウタンを買いたいというので連れて行きました。そしたらニアズは僕を陰に引っ張り、彼と僕との親しさの程度を聞くのです。つまりベストフレンドならここまでまけるし、そうでなければこの位という話なのです。ベストフレンドではなかったのですが勿論ベストだと僕は答え、こういう質問をするのがインドの商売人かと妙な感心をしたのを覚えています。

ニアズは僕達夫婦にカシミールに遊びに来いと熱心に勧めるのですが、世界の紛争地帯で有名なカシミールですからおもわず大丈夫かねと尋ねたら、「全く問題はない。ドンパチやっているのは一種のポリティカルゲームで我々の生活には何の影響も及ぼさない」と鼻で笑っておりました。それではマシンガンでも持って行くかといったらみんなが笑ってそうだからシニコフだと言うのです。

ここでソ連製の銃の名前が出てくるのがポイントでインドはイスラム教徒の人も多くかなり反米的でその分ソ連とは近いようです。インドの最初の宇宙飛行士の写真をデリーの博物館で見ましたが、インドが宇宙ロケットをいつ飛ばしたのかと思ったらソ連のソユーズに乗せて貰っていました。

また国との関係でいえば中国とは昔から国境で争ってきましたからあまり文化交流も深まっていないようで高級ホテルに中華レストランはありますが、かなりインド料理に変質しています。それから無いのが韓国焼肉店です。なぜかはお解かりですよ。ちなみにデリーにマクドナルドの店が出来たのですがハンバーグの肉はマトンを使っているそうです。写真はタバコ屋のオヤジで悪役風ですが優しい人です。

